



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 神田通信機株式会社

コード番号 1992 URL <http://www.kandt.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神部 雅人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高橋 昌弘

TEL 03-3252-7731

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	3,640	0.2	△127	—	△94	—	△105	—
28年3月期第3四半期	3,633	—	△32	—	12	—	191	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △59百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 237百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	△13.15	—
28年3月期第3四半期	23.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	6,136	3,311	54.0	413.02
28年3月期	6,620	3,395	51.3	423.41

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 3,311百万円 28年3月期 3,395百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	2.1	172	△33.3	214	△31.0	130	△69.5	16.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	8,744,091 株	28年3月期	8,744,091 株
29年3月期3Q	725,892 株	28年3月期	724,991 株
29年3月期3Q	8,018,299 株	28年3月期3Q	8,020,079 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。詳細は【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用や所得環境に改善が見られ、緩やかな回復基調が続いている一方、英国のEU離脱や米国の新大統領就任等の要因により、為替、株価が乱高下するなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、永年にわたり情報・通信・映像の事業で培った豊富な経験と情報・通信を統合した確かな技術力をもって、進化するネットワーク社会に適合したソリューションビジネスを展開してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は36億40百万円(前年同四半期比0.2%増)となり、営業損失は1億27百万円(前年同四半期は営業損失32百万円)、経常損失は94百万円(前年同四半期は経常利益12百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億5百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億91百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 建設事業

IPネットワークの提供で企業のネットワークインフラの設計・提案・構築とサポートサービスを行っており、大手・中堅企業の全国ネットワーク構築や地方自治体のネットワーク構築及びセキュリティ関連システム等のソリューション提案及び商業施設、ホテルやブランドショップ等への照明システムの拡販に積極的に注力いたしました。

以上の結果、当セグメントの完成工事高は29億4百万円(前年同四半期比6.6%減)、営業損失は1億39百万円(前年同四半期は営業利益25百万円)となりました。

② 情報システム事業

自社ブランドパッケージソフトの開発と販売、一般企業や独立行政法人・社会福祉法人向け等のシステム開発及びセキュリティ関連ビジネスとハード、ソフトのサポートサービスを行っており、独立行政法人・公益法人向け財務会計ソフト「見える会計」、社会福祉協議会向けソフト「こころ」等自社開発パッケージソフトの提案やセキュリティ関連システム提案等ソリューションビジネスを積極的に展開いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は6億66百万円(前年同四半期比39.0%増)となり、営業損失は36百万円(前年同四半期は営業損失79百万円)となりました。

③ 不動産賃貸事業

不動産の賃貸を事業としており、売上高は69百万円(前年同四半期比52.7%増)、営業利益は48百万円(前年同四半期比116.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は61億36百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億84百万円減少しました。これは主に、未成工事支出金が2億97百万円増加し、受取手形・完成工事未収入金等が9億23百万円減少したこと等によります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は28億25百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億00百万円減少しました。これは主に、支払手形・工事未払金等が2億79百万円減少したこと等によります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は33億11百万円となり、前連結会計年度末と比較して83百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が1億29百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月11日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,241,778	1,351,904
受取手形・完成工事未収入金等	1,899,501	975,647
未成工事支出金	203,617	500,734
仕掛品	40,618	41,241
その他のたな卸資産	4,064	4,308
その他	148,050	160,580
貸倒引当金	△36,827	△31,238
流動資産合計	3,500,803	3,003,179
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	366,167	350,712
土地	1,520,934	1,520,934
その他（純額）	14,440	13,902
有形固定資産合計	1,901,542	1,885,549
無形固定資産		
投資その他の資産	8,537	8,376
投資有価証券	997,410	1,046,185
その他	219,556	215,975
貸倒引当金	△6,883	△22,386
投資その他の資産合計	1,210,082	1,239,773
固定資産合計	3,120,162	3,133,699
資産合計	6,620,966	6,136,879

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,195,081	915,326
短期借入金	190,000	220,000
未払法人税等	69,274	9,012
賞与引当金	112,778	51,070
役員賞与引当金	10,370	3,300
その他	455,560	436,937
流動負債合計	2,033,063	1,635,646
固定負債		
リース債務	138,214	114,138
繰延税金負債	86,639	96,010
退職給付に係る負債	852,259	855,971
役員退職慰労引当金	67,155	75,164
その他	48,243	48,243
固定負債合計	1,192,513	1,189,528
負債合計	3,225,576	2,825,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,310,825	1,310,825
資本剰余金	1,087,084	1,087,084
利益剰余金	869,708	740,177
自己株式	△130,214	△130,368
株主資本合計	3,137,403	3,007,717
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	269,386	306,837
退職給付に係る調整累計額	△11,399	△2,849
その他の包括利益累計額合計	257,986	303,987
純資産合計	3,395,389	3,311,704
負債純資産合計	6,620,966	6,136,879

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	3,633,845	3,640,090
売上原価	2,669,098	2,746,339
売上総利益	964,747	893,750
販売費及び一般管理費	996,784	1,021,480
営業損失(△)	△32,036	△127,730
営業外収益		
受取配当金	13,879	15,736
受取手数料	13,366	18,061
その他	19,076	14,831
営業外収益合計	46,321	48,629
営業外費用		
支払利息	2,196	2,442
貸倒引当金繰入額	-	11,523
その他	85	1,041
営業外費用合計	2,281	15,006
経常利益又は経常損失(△)	12,003	△94,107
特別利益		
負ののれん発生益	391,204	-
特別利益合計	391,204	-
特別損失		
段階取得に係る差損	195,110	-
特別損失合計	195,110	-
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	208,096	△94,107
法人税、住民税及び事業税	16,482	11,367
法人税等合計	16,482	11,367
四半期純利益	191,614	△105,474
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	191,614	△105,474

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	191,614	△105,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,683	37,450
退職給付に係る調整額	8,359	8,549
その他の包括利益合計	46,042	46,000
四半期包括利益	237,657	△59,473
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	237,657	△59,473

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計(千円)
	建設事業 (千円)	情報システム事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	2,904,154	666,096	69,838	3,640,090
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,904,154	666,096	69,838	3,640,090
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△139,594	△36,955	48,819	△127,730

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。